

2018
Aug.
Vol. 44

一般社団法人栃木県診療放射線技師会
情報誌

あすたーと

道の駅「東山道伊王野」の水車



■那須町の東部、国道294号線沿いにある道の駅には、直径12mと直径5.6mの2連水車があります。水車小屋には、直径2mの巨大石臼があり、その石臼で挽いて作った手打ちそばを召し上がることできます。残暑厳しきこの時期、涼を求めて、いにしへの義経街道（東山道）をドライブしてみてもいかがでしょう。

CONTENTS

■ 巻 頭 言	技師会から伝えたいこと	2
■ 報 告	第94回 定時社員総会開催報告	3
■ 報 告	平成30年度 第1回卒業後教育講座開催報告	5
■ 報 告	第3回 技師長サミット開催報告	7
■ 報 告	平成30年度 フレッシュアップセミナー開催報告	12
	フレッシュアップセミナーに参加して	14
■ 報 告	第8回 業務拡大に伴う統一講習会開催報告	15
■ 報 告	日本診療放射線技師会 第79回 定時総会参加報告	17
■ 会員報告	平成30年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会（新潟大会）参加体験記	18
■ 事務局報告		19
■ INFORMATION		20

「診療放射線技師会から 伝えたいこと」



一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会 長 小 黒 清

はじめに、6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震による災害、7月初めには西日本を中心とした豪雨により大きな被害が発生しました。この度の地震による災害や豪雨被害にあわれた全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一刻も早く復興することをお祈りしております。

さて、平成30年6月2日に第79回公益社団法人日本診療放射線技師会総会が開催され、私は平成30年度、31年度役員選挙において北関東地域理事として選任されました。これからも、関東地域の各県の会長と連携を密にして日本診療放射線技師会の事業を会員の皆様にわかりやすくお伝えしていく所存であります。よろしくお願い致します。

日本診療放射線技師会は職能団体であり、私たち診療放射線技師の職業を守り地位向上のために事業を展開しております。その一つが各省庁への要望書提出とその折衝です。われわれ診療放射線技師資格の権利や職能を守り職業を発展させていくためには、必要不可欠であり、その唯一の窓口が職能団体である日本診療放射線技師会です。現在、厚生労働省医政局長へ「読影の補助業務における診療放射線技師活用に関する要望書」、厚生労働省労働基準局長へ「休日および夜間勤務労働適正化に関する要望書」をそれぞれ提出しております。その他には、診療放射線学及び診療放射線技術の質の向上発展に関する事業、放射線診療に係る事業等、6つの事業を本年度実施する予定です。

一方、各都道府県の診療放射線技師会は、日本診療放射線技師会から委託されて事業を行っています。いくつか栃木県の現状とお願いしたいことについてお話しさせていただきます。

まず初めに、「業務拡大に伴う統一講習会」の開催についてです。日本診療放射線技師会は、新しく業務範囲に含まれた業務を安全かつ正確に実施するために、100%の受講を目指しています。本会でも、100%の受講を目指して広報をしておりますが、現在の受講率が60.6%（7/19現在）とまだ少ない状況です。平成32年春まで残り5回の開催となっております。受講者が少なくなってくると、他県との合同開催等も検討せねばなりません。また、JART会誌1月号の中澤会長の巻頭言には「2020年の新卒からは新しい診療放射線技師が医療界に仲間入りし、次期診療放射線技師法の改正では、新しい診療放射

線技師と統一講習会修了者が優先対象となる。既卒の方々は、古い診療放射線技師として取り残されないよう早めの受講をお勧めする」と記載されていますので、ぜひ統一講習会の受講をお願いします。

次に、「医療被ばく低減施設認定取得」です。日本診療放射線技師会では「安心できる放射線診療」を国民の皆様へ提供するための事業として、医療被ばく低減施設の認定を行っています。

2年後までに各県で3～5施設取得してほしいとのことです。本会としても、医療被ばく低減施設取得に向けて第1回卒後教育講座や技師長サミットなど県内医療機関の技師長、管理職が集まるところで、講演会を通して医療被ばく低減施設認定取得のお願いをしましました。県内では現在1施設のみが取得している状況ですので、ぜひ皆さんの施設でも取得を目指していただきたいと思います。今後本会では、取得しようとしている施設を対象に、「取得するためには、何をしたらよいか」などの説明会の開催を考えています。その際には、ぜひ参加してください。

最後に「栃木県診療放射線技師会ホームページ」についてです。4月に本会ホームページ（HP）をリニューアルしました。リニューアルしてから早3か月、会員の皆様には、日ごろよりHPを閲覧していただき大変感謝しております。会員ページの閲覧数は、7月12日に『1,000カウント達成！』いたしました。今後も「わかりやすい技師会」を目指し、会員の皆様にHPで「わかりやすく伝える」ことに尽力し、「見える化」を実践していきたいと考えております。また、卒後教育講座で簡単なアンケートを実施し、会員の皆様の意見に耳を傾け、HPを充実させていきたいと思ひます。

最後になりますが、最新の情報を皆さんと共有することが重要と考えていますので、できるだけHPやメーリングリストを活用していきたいと思ひます。多数の会員の皆様のメーリングリストへの登録とHPの閲覧をよろしくお願い致します。

栃木県診療放射線技師会
ホームページ
<http://tartnet.com/>



ぜひ一度
ご覧ください。

報 告

開催報告

第94回 栃木県診療放射線技師会 定時社員総会開催報告

開 催 日：平成30年 5 月26日(土)

開 催 場 所：獨協医科大学病院 教育医療棟 7 階 シミュレーション講義室Ⅱ
(下都賀郡壬生町北小林880 TEL 0282-86-1111)

正会員総数：485名

有効出席者数：327名 (内訳：会場出席者27名、委任状出席者256名、書面議決権行使者44名)

議事録作成人：牧島 正道 (栃木県立がんセンター)

議事録署名人：小黒 清 (獨協医科大学病院)
柳沢三二郎 (自治医科大学附属病院)



開会を宣言する福田副会長

副会長福田敏幸が開会を宣言し、会長小黒清の挨拶で総会が始まりました。

総会議事に先立ち、25年間事務員として技師会活動に貢献してくださっている矢野房江事務員に対しての感謝状贈呈、続いて本技師会の35年・20年勤続功労表彰が行われ、35年表彰者6名、20年表彰者11名が表彰されました。

総会運営委員長が午後4時50分時点の正会員数と有効会員数を報告し、本総会が成立する旨を告げました。議長・議事録作成人並びに議事録署名人の選出方法を諮ったところ、満場一致で執行部案が承認され、議長に理事木村和弘、議事録作成人に理事牧島正道、議事録署名人に代表理事小黒清、理事

柳沢三二郎が選任されました。

第1号議案：平成29年度事業報告、第2号議案：平成29年度会計決算報告、第3号議案：平成29年度監査報告を会長、財務部長理事金田幹雄及び監事がそれぞれ説明を行い、それぞれの議案に対し会場に諮ったところ、満場一致で承認されました。

第4号議案：会費等に関する規則の改定について会長小黒清より説明があり、会場に諮ったところ、満場一致で承認されました。

第5号議案：平成30年度事業計画及び予算書（報告事項）について、会長小黒清より説明がありました。

第6号議案：その他について議場に諮ったところ、特になく、議長はすべての議決完了したことを宣して降壇し、副会長柳沢三二郎が閉会を宣言し、解散となりました。

35年勤続功労表彰



感謝状が贈呈された
矢野房江様



20年勤続功労表彰



▲
執行部及び監事▶



議事を進める
木村議長



閉会を告げる
柳沢副会長



報 告

開 催 報 告

平成30年度 第 1 回卒後教育講座開催報告

■開催日時：平成30年 5 月26日(土) 15：00

■会 場：獨協医科大学病院 教育医療棟 7 階 シミュレーション講義室Ⅱ

■参加人数：62名（会員53名 新卒者 9 名）

■内 容： 講演 1 「画像診断学の基礎（呼吸器）」

国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科

教授 樋口 清孝 先生

講演 2 「医療被ばく低減施設認定取得へ向けて」

獨協医科大学病院 福住 徹 先生

少し汗ばむ陽気となった平成30年 5 月26日に獨協医科大学病院にて第 1 回卒後教育講座が行われました。

講演 1 では、国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科の教授にご就任された樋口清孝先生に、画像診断における読影の補助に関する呼吸器部門の講義をしていただきました。

扁平上皮癌を中心とした肺癌や、細胞と細胞の間に水がたまる間質性肺水腫と肺胞の中に水がたまる肺胞性肺水腫、そして肺結核については、1 次結核と 2 次結核の違い、そして最新の結核検査についてなどでした。

画像診断をするうえで、なぜそのようなサインが出るのかを病態生理の観点から、詳しくわかりやすく解説いただくので、前回までご講演いただいた脳、心血管、消化器に続き今回の呼吸器もとても勉強になりました。ありがとうございました。

講演 2 では栃木県内で唯一の医療被ばく低減認定施設である獨協医科大学病院の福住徹先生に取得の際の苦労やアドバイスを講演いただきました。

途中、赤と緑の札を使い、参加者も自然と参加しやすい工夫をしたアンケートの取り方に感心いたしました。

講演後も個人的に質問されている参加者も多く、被ばく低減施設を目指す施設の会員にとって、とても参考になった講演でした。ありがとうございました。

学術部 大 橋 俊 之



開会の挨拶をする
小黑会長



座長を務める
高橋理事

講演 1 画像診断学の基礎 (呼吸器)



国際医療福祉大学
樋口 清孝 先生

講演 2 医療被ばく低減施設 認定取得へ向けて



獨協医科大学病院
福住 徹 先生



第3回技師長サミット 開催報告

■開催日時：平成30年6月9日(土) 研修会：15：00～ 情報交換会：17：30～

■会場：ホテルニューイタヤ

■内容：研修 1 「人材育成について」

とちぎメディカルセンターしもつが病院技師長 松田 悟志 先生

栃木県立がんセンター技師長 浅賀 昭彦 先生

国際医療福祉大学病院 主任技師 近藤 寿和 先生

研修 2 「医療被ばく低減施設認定取得セミナー」

獨協医科大学病院 吉澤 隆雄 先生

■研修会参加者総数：63名（24施設、10社）

■情報交換会参加者総数：51名（16施設、10社、協賛2社）

今回で3回目となります「技師長サミット」が開催されました。

初めに、会長の挨拶では技師会からのお願いとして医療被ばく低減施設の認定を取得していただきたいというお話で、日本診療放射線技師会では各県3～5施設の認定を取ることににより診療報酬にも反映させたい意向だそうです。次に業務拡大に伴う統一講習会の受講が医療安全の観点から必須の項目だということを各施設の放射線技術部門長の方々に理解していただき、栃木県では100%の受講を目指すというお話を熱く語っていただきました。

（以下施設名等は略称を使用させていただきます）

国際病院の発表は技師長所用のため、近藤主任技師に行っていただきました。技師数30名となり開院時の頃と比べて新人教育、人材育成もマニュアル化され機器管理などもきちんに行えるようになっているそうです。モチベーションを上げるために自己評価を行ってもらい、その後の面談で実際の評価との違いを認識してもらうことで方向性を指導し、今後の目標設定をすることで自主性の喚起を促しているそうです。特に新しい考えだと感じたのは、大学の学位を取ることににより教員への道を導入することにより病院と大学の連携を行うように考えているというお話でした。歴史の少ない施設だと思いますが、逆に新しい取り組みに力を入れていて先進的な施設になっていると感じました。

がんセンター浅賀技師長の発表では、まず新人教育をしっかり行うことを重要視していて、業務が的確にできるようになったことを確認するシステムがあるそうです。その後、中堅になるに従い研修その他で新しい技術の導入、資格の取得などに力を入れるとともに業績評価、能力性評価をきちんと行うことでモチベーションを上げていくようです。特に素晴らしいと思ったのは県外への出張が多いということで、多い方は年に10回など、学会、研修会などに積極的に参加しているということでした。中堅施設ならではの強みだと感じます。

しもつがの松田技師長の発表では何しろ面接を積極的に行い、個人の目標をしっかり立ててもらいその達成度もきちんと検証する。これを年2回行うということで管理職の大変さがよくわかるとともに、管理職も上級者に同様な評価をされるという制度が、厳しくもあり各種の資格取得には非常に有用だと感じました。やる気があり積極的に行動すればそれを評価してもらえるということで最高のモチベーションアップになると思います。また、年2回以上面接を行うことで、若い人材の意見、不満などもくみ取ることができ、縦の繋がりが密になる素晴らしいシステムだと思います。評価をする管理職の研修がしっかり行われていることがこういった制度を維持していくのに重要だとも感じました。

研修2では医療被ばく低減施設認定取得に関するお話で、チーフサーベヤーも行っている吉澤先生のお話でした。施設認定には放射線部門だけが頑張っても取得できるものではなく、病院職員全員が医療被ばく低減を行っているという認識を持ってもらうことが重要で、他部門への働きかけが必要だということがわかりました。線量測定、評価などはいつでも相談に乗ってくれるということですが、まず認定を取ろうという目標を持つことから始まり、いくつかのハードルを越えて取得という形になります。その過程でやはり経費がいろいろと必要になり、掲示されている費用以外にも必要になることがわかりました。この面でも施設の協力を得ることが最初に必要になるようです。県内で取得を目指す施設はぜひ申し出てほしいということです。

あっという間に予定の2時間以上が過ぎ、お待ちかねの懇親会です。会長の挨拶、がんセンター浅賀様の乾杯で開演し、楽しい時間を過ごすことができました。昨年同様、全員が一言……挨拶でしたが結構時間がかかりました。他施設との交流、アドバイス、新しい取り組みの導入といろいろな話を聞いたり話したり、とても有意義な時間を持てました。今年参加できなかった施設の方々も来年はぜひ参加していただければと思います。

紙面にて恐縮ではございますが、ご講演いただきました先生方、協賛いただきました各社様およびこの会を企画運営してくださいました技師会の役員の皆様に深く感謝申し上げます。



開会の挨拶をする
小黒会長

研修 1 「人材育成について」



国際医療福祉大学病院
近藤 寿和 先生



栃木県立がんセンター
浅賀 昭彦 先生



とちぎメディカルセンターしもつが
松田 悟志 先生

研修 2 「医療被ばく低減施設認定取得セミナー」



獨協医科大学病院
吉澤 隆雄 先生



報告

開催報告



情報交換会



開会の挨拶をする小黑会長

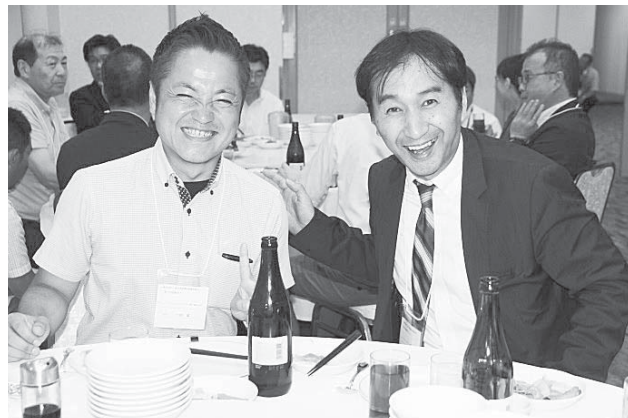


乾杯の挨拶をする浅賀技師長



報告

開催報告



TART

平成30年度 フレッシューズセミナー開催報告

■開催日：平成30年 5月27日(日) 晴れ（気温22℃）

■場 所：獨協医科大学病院 教育医療棟 7階 シミュレーション講義室Ⅱ

■参加者：22名

初めに小黑会長より挨拶がありました。このフレッシューズセミナーは日本診療放射線技師会と県技師会の協賛で新たに診療放射線技師として勤務するフレッシューズを対象とした基礎講習です。診療放射線技師として、また医療人として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療および保健福祉の向上に努めることを目的としています。また、本セミナーを通じて日本診療放射線技師会へ入会していただきたいと思います。実習に来られた方も見受けられ、これから皆さんの活躍を期待します。

福田副会長より医療安全の講義を受けました。「人間の思い込みとヒューマンエラーについて」人間の注意と不注意、ルビンの壺などを例に最初に目に入ったものが脳に焼き付いてしまう。注意をしているつもりでも失敗してしまう。また、共同作業をしていると誰かがやるだろうと思う心理が生まれてしまうなどの話がありました。

金田理事よりエチケット・マナーの講義を受けました。エチケットは個人に対する気遣い、マナーは社会に対する気遣いということになり、相手の立場や気持ちを配慮した振る舞いがエチケット、社会の構成員として一般に求められる振る舞いがマナーであることなど基本的なところから話していただきました。

寺島会員より感染対策の講義を受けました。標準予防策が重要で感染の輪が起きないようにすること、断ち切ることが大切。接触感染が一番重要で人から人、人から物などに伝播される。

牧島理事より入会促進の案内がありました。日本診療放射線技師会と栃木県診療放射線技師の協賛で行っている。1947年にできた国家資格を取った診療放射線技師だけが加入できる職能団体である。資質の向上を図るために講習会、セミナー、学会、資格認定等を行っている。栃木県では毎年3月に学術大会を行っている。全国を8ブロックに分け、栃木県診療放射線技師会は北関東ブロックになり関東甲信越学術大会に参加している。また、平成26年に技師法が改正されたため、業務拡大に伴う統一講習会に参加していただきたい。日本診療放射線技師会では全国学術大会（日本診療放射線技師学術大会）を年1回行い、また情報誌の発行も行って海外の技師との交流を行っている。

吉成理事より気管支の解剖について講義がありました。気管支体操と模型作りを行い、体を使って気管支解剖が覚えられたと思います。

学術部長 吉 成 亀 蔵

報告

開催報告



小黑会長



福田副会長



金田理事



寺島会員



牧島理事



吉成理事



フレッシューズセミナーに参加して

獨協医科大学病院 金子 晶子



平成30年5月27日開催の新人診療放射線技師を対象としたフレッシューズセミナーに参加しました。様々な講義の中でも一番印象に残ったものは医療安全に関する講義です。この講義をきいて、ミスを犯さないためには、人間はミ

スをするという認識をもつことが重要であるとわかりました。人間はミスをするという考えに基づいて対応や改善策を講じる必要があるという意味です。

ヒューマンエラーが生じる原因の一つに思い込みがあります。思い込みは人間の視覚を麻痺させます。胸部単純X線写真における正面撮影はP→A方向で撮影することが多いですが、時折、A→P方向で撮影することがあります。その時、思い込みがあると、撮影方向の指示を見逃してしまいます。ミスが発生しやすい業務がわかっているならば、対策を行うことができます。

フレッシューズセミナーに参加したことで医療安全に対する考え方を学ぶことができました。単純X線撮影のみならず、人間はミスをするという前提の基に行動し、医療安全の確保に努めていきたいと思います。

第8回業務拡大に伴う統一講習会 開催報告

■開催日：平成30年 7月15日(日)・16日(月) 晴れ 36℃

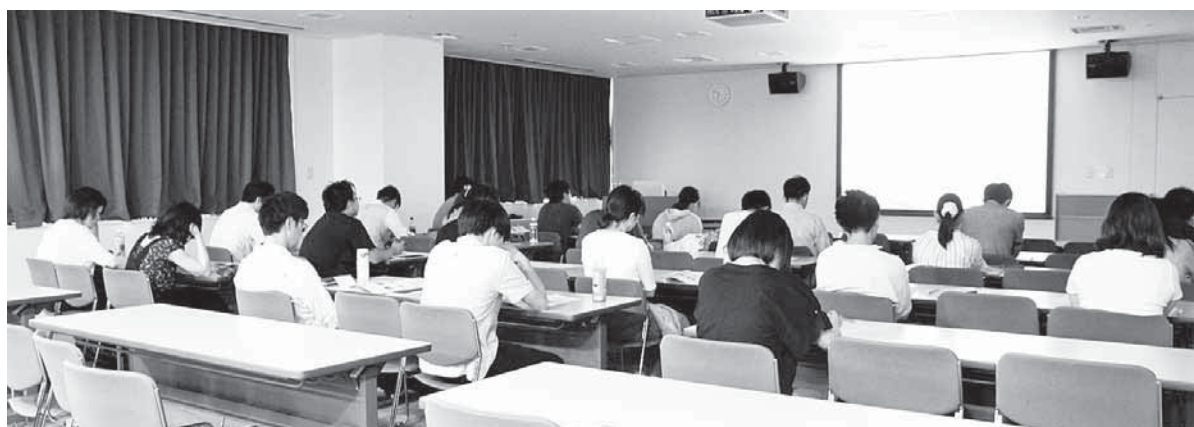
■場 所：獨協医科大学病院 教育医療棟 6・7階 シミュレーション講義室Ⅰ・Ⅱ

■参加者：23名

今回もDVDの講義と実習にて開催されました。6月下旬に梅雨明けも発表になり暑い中での開催となりました。その中、23名の方に参加していただきました。統一講習会も8回目となり参加者も前回より減少しておりますが通常通り開催になりました。

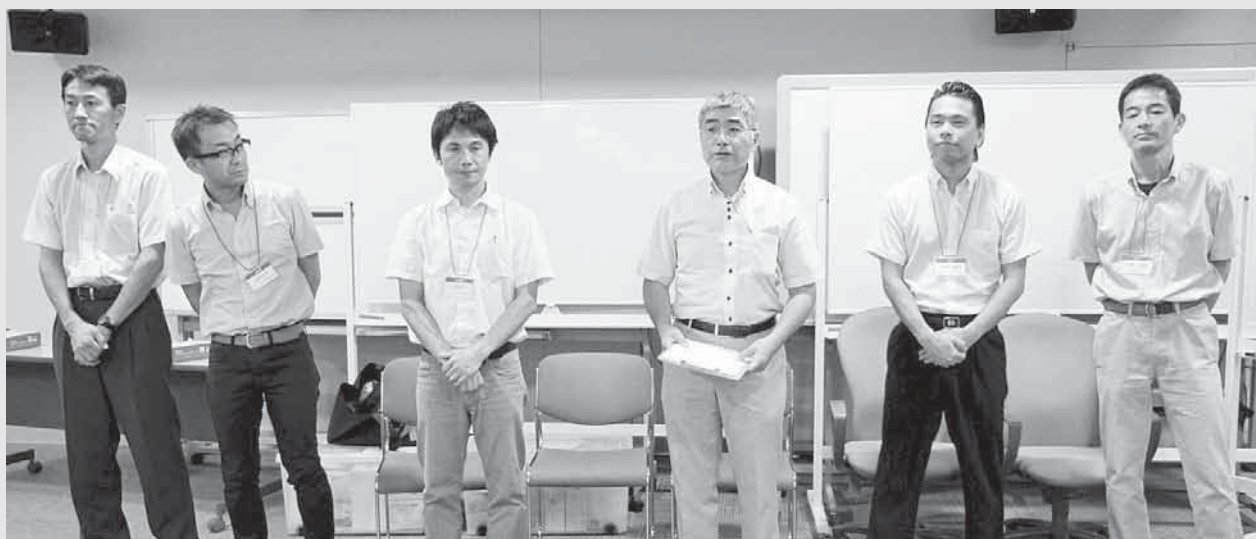
業務拡大に伴う統一講習会の趣旨は診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正されたことです。CT・MR検査の自動注入器による造影剤の注入と注入後の針の抜刺や止血、下部消化管検査のネラトンチューブ挿入、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入などの業務拡大がなされました。この業務を行うために医療の安全を確保することが求められていて、このために必要な知識、技能を習得することが目的であり、講習会は強制されるものではないですが診療放射線技師の法令改正によるところで受けていただきたいと思います。

参加者の皆さんは、一般ですと3連休となるところを朝早くから集まり遅い時間までDVDの講習を受けなければならず、つらいところと思いますが頑張ってくださいました。実習では班ごとに静脈注射の抜針、下部消化管検査、IGRT、一次救命処置法に至るまでをグループで慣れない手つきながら全員が実習を行いました。講師の方々ありがとうございます。明日から仕事に生かせるものは生かしていただきたいと思います。



報告

開催報告



公益社団法人日本診療放射線技師会 第79回定時総会参加報告

平成30年6月2日(土)、平成30・31年度役員選任を伴う第79回定時総会が東京、日経ホールにて開催され、栃木県代議員として柳沢副会長、吉成理事、牧島の3名で栃木県診療放射線技師会として議決、投票してまいりました。平成29年度事業報告、決算報告に関して執行部からは、平成29年度決算報告では約4,000万円の赤字と厳しい状況、要因は統一講習会の受講者の減による受講料収入減、学術大会事業の減収などで、今年度から予算の適正配分、事業の改善をしていく。また、平成32年まで開催予定の統一講習会については受講率アップと年々受講者も減少していく傾向であるが、都道府県技師会には未受講者へ周知を継続していただきたいとのことでした。国際交流事業について会員へのメリットが見えない状況で技術協力や、招待など先方の援助なしで日放技からの経費のみで賄うことに費用対効果が疑問との質疑がありましたが、今は海外の技師会と関係構築の段階で数年後の効果を見込んでいるとの説明でした。



定時総会



役員選挙投票



平成30・31年度役員選任については、全国代議員185名によるマークシート投票が無事行われ、日放技役員、地域理事8名、全国理事14名、外部理事3名、監事2名、会員外監事1名が承認され2年間事業を運営していくことになります。本県からは小黒清会長が立候補し、北関東地域理事として当選、承認されました。今後、栃木県診療放射線技師会長と日放技会務の兼務で益々多忙となると思われますが、北関東また栃木県会員のために活躍を期待しております。

新役員挨拶の後、すべての議事が承認され閉会となりました。



公益社団法人日本診療放射線技師会新旧役員紹介



新役員挨拶をする小黒清北関東地域理事兼
栃木県診療放射線技師会長

代議員 牧 島 正 道

平成30年度 関東甲信越診療放射線技師学会へ参加して



平成30年6月30日(土)～7月1日(日)の二日間にわたり、新潟市の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて関東甲信越診療放射線技師学会大会が開催されました。『多様な視点でつなぐ放射線診療の未来～トキは来たり、今こそ新潟からはばたこう～』をテーマに様々な視点からプログラムが組まれており、とても充実した二日間となりました。

本大会で私はCTの一般演題に演者として参加し、「肺がんCT検診撮影条件にCT-AEC導入後の被ばく状況の把握」について発表を行いました。今回の演題を選んだきっかけは上司からの勧めでした。これについて発表してみない？と勧められ、研究や発表をすることで自分の経験にすることができたらいいなと思い、上司から指導を頂きながら準備をしていきました。発表の準備や調査の過程で上手く結果が出ないことに対して、なぜ？どうし

て？と考えることが何度もあり、それらの問題を解決していくことで今までになかった知識を得ることができたと思います。また、当日の発表ではCTを熟知した方々の前ということもあり、とても緊張しましたが、普段人前に出て発表する機会が少ないのでとても貴重な経験になりました。

学会大会後の情報交換会では他施設の方と話す機会があり、自施設との違いや、検査で困っていることについてアドバイスを頂きました。また、お話を伺っている中で今回の学会大会に集まった方々の技師としての心意気や熱意を感じ、私も熱意を持って働く技師を目指していきたいと思いました。そのためには今後学ばなくてはいけないこと、やらなくてはいけないことがたくさんあると感じ、もう一度自分を見直すきっかけにもなりました。

この二日間は学会だけでなく、新潟ならではの料理やお酒を堪能することができたことも良い思い出です。今度は観光をしに、新潟へ遊びに行きたいと思います！！

栃木県立がんセンター 片岡美香



事務局報告

会員の動静

平成30年7月31日現在

■会員総数 501名

第1地区 80名 第2地区 108名
第3地区 157名 第4地区 61名
第5地区 95名

■入会

加藤そよか 宇都宮セントラルクリニック
菊池 啓人 国立病院機構栃木医療センター
小金澤明日香 足利赤十字病院
増田 英夫 栃木県保健衛生事業団
中妻 道貴 地方独立行政法人 新小山市民病院
橋本 栞 特定医療法人博愛会 菅間記念病院
蜂巢 裕也 特定医療法人博愛会 菅間記念病院
三吉 英秀 特定医療法人博愛会 菅間記念病院
依田 綾香 一般財団法人佐野メディカルセンター
佐野市民病院
阿藤 瑞希 地方独立行政法人 新小山市民病院
桐山 岳 足利赤十字病院
常盤 礼香 社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
小原 彩果 社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
山田 幸誉 宇都宮セントラルクリニック
三上 倫佳 社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
館林 礼任 獨協医科大学病院
金子 晶子 獨協医科大学病院

■転入

井上 達郎 柴病院

■退会

君島 昌良
光吉 豊

会の動静

- 4/26 第1回理事会（獨協医科大学病院）
5/26 第1回卒後教育講座
第94回定時社員総会・勤続20年・35年表彰式
（獨協医科大学病院）
5/27 診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー（獨協医科大学病院）
6/ 6 栃木県がん集検協議会理事会
（栃木県立がんセンター）〈小黑会長〉
6/ 9 第3回技師長サミット（ホテルニューイタヤ）
6/29 第1回日本診療放射線技師会北関東地域役員
（拡大会長会議）教育委員合同会議
関東甲信越診療放射線技師学術大会役員会
（拡大）
（新潟大学駅前キャンパス）〈小黑会長・吉成教育委員・金田理事〉
7/15-16 第8回業務拡大に伴う統一講習会
（獨協医科大学病院）
7/17 栃木県がん集検協議会総会及び学術講演会
（栃木県立がんセンター）〈小黑会長〉
7/19 第2回業務執行理事会（獨協医科大学病院）
7/26 第2回理事会（獨協医科大学病院）
7/28-29 地域責任者（47都道府県会長）ワーク
ショップ・地域委員会（全国会長会議）
（日本診療放射線技師会事務局）〈小黑会長〉

会費納入は お済みですか？

本会の運営は、会費が重要な財源となっています。
会の円滑な運営のため会費の早期納入にご協力ください。

会費納入期限は
9月末日です。



※会費払込用紙を紛失された方は、日本診療放射線技師会へ再発行の申請をしてください。

TART INFORMATION CORNER

■平成30年度 活動予定表

平成30年

9/21(金)～23(日) 第34回日本診療放射線技師学術大会
(海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ)

9/27(木) 第3回業務執行理事会

9/30(日) 会費納入期限

10/14(日) 診療放射線技師基礎技術講習「MRI検査」

10/27(土) 第2回卒後教育講座

第3回理事会

11/17(土)・18(日) 第9回業務拡大に伴う統一講習会

12/ 8(土) 第4回業務執行理事会

平成31年

1/10(木) 会誌110号発行

1/19(土) 第4回理事会

2/10(日)・11(月) 第10回業務拡大に伴う統一講習会

2/18(月) 第14回学術研究発表会抄録集発行

2/21(木) 第5回業務執行理事会

3/ 3(日) 第3回卒後教育講座・第14回学術研究発表会
第5回理事会

■ご案内

平成30年度 各地区卒後教育講座予定

今年度の各地区卒後教育講座の開催予定をお知らせします。

詳細な内容は確定次第、ホームページ等で情報公開いたします。

所属地区以外の卒後教育講座にも奮ってご参加ください。

第1地区

第1回 平成30年10月19日(金)

第2回 平成31年 2月15日(金)

第2地区

第1回 平成30年11月10日(土)

第2回 平成31年 2月23日(土)

第3地区

第1回 平成30年11月 2日(金)

第2回 未定

第4地区

第1回 平成30年 9月12日(水)

第2回 平成30年 2月 7日(木)

第5地区

第1回 平成30年11月 8日(木)

第2回 平成31年 2月14日(木)

■ご案内

第6回 栃木MRI技術研究会

日 時：平成30年9月1日(土) 12:30～18:30

会 場：宇都宮グランドホテル 1F 平安の間
(宇都宮市西原町142)

会 費：500円(学生は参加費無料)

共 催：栃木MRI技術研究会

バイエル薬品株式会社

代表世話人：小黑清(獨協医科大学病院 放射線部)

*磁気共鳴専門技術者認定更新点数…5単位

*研究会終了後、情報交換会を予定

■ご案内

メーリングリストへのお誘い

栃木県診療放射線技師会ではリアルタイムの情報発信を会員の皆様方に提供するため、メーリングリストでの情報発信を随時行っております。

登録は、栃木県診療放射線技師会HP

<http://www.tartnet.com> ➡ 「会員及び関連の方は
こちら」の **TartMLに参加しよう!** をクリックして
みてください。

たくさんの参加登録をお待ちしています。仕事上での疑問、質問も投稿するといろいろな方の答えが聞けて役に立ちますよ!!

編集後記

■残暑お見舞い申し上げます。昨年の夏は各地で記録的豪雨による異常気象が発表され、今年の夏は猛烈な暑さによる異常気象が発表されました。来年はどんな異常気象が…

■小黑清会長が北関東地域理事に選任されました。これまでのご経験を活かし、会員にも国民にもわかりやすい技師会運営をお願いしたいと思います。

■当会への入会者も少しずつ増えてきました。将来の発展には若い会員のパワーが欠かせません。新しくなったホームページで最新情報を入手し、様々なイベントに参加してみましょう! [編集責任者 樋口清孝]

一般社団法人栃木県診療放射線技師会

あすたーと

2018
Aug.
Vol. 44

編集・発行

発行人 小 黒 清

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
〒320-0032 宇都宮市昭和1丁目3番10号
栃木県庁舎西別館404号

TEL・FAX 028-625-7979

銀行振込:足利銀行本店(普通)1785921

郵便振替:00340-3-35730

URL <http://www.tartnet.com/> E-mail tart@ce.mbn.or.jp